

令和6年6月9日のJSSチャレンジでの挨拶

本日はJSSチャレンジに参加させて頂きありがとうございました。JSSのサービスが今後もできるだけ多くの方の役に立つことを願って一緒に歩く本イベントの趣旨に賛同し、今回参加しました。在トロント総領事館の業務においてもJSS様にはお世話になり、連携させて頂いています。

JSSは貧困、孤立、虐待、差別のない、バリアフリーのコミュニティを目指して活動しておられます。JSSはコミュニティのつながりを形成する活動にも力を入れておられます。

JSSのこうした活動の意義を示唆するものとして、外務省が昨年実施した人々の孤独感に関する調査の結果を少しご紹介させていただきます。やはり、日本内より在留邦人の方の間でより多くの方が孤独を感じておられます。

孤独と感じる人の割合は北米地域で特に顕著でした。女性及び若年層でより多くの方が孤独を感じておられることもわかりました。言語上の出来事や文化的な違いが孤独に影響を与えていることもうかがわれました。

相談相手のいない人はそうで無い人よりずっと多く孤独を感じていることもわかりました。経済状態と健康状態の悪化も人々の孤独感を強める要因になっているようでした。

こうした諸点に鑑みても、JSS の活動の意義は明らかです。一人一人をより広いコミュニティにつなげようとする JSS の活動に改めて敬意を表したいと思います。私もそうした意識を持ちながら職務を果たして参りたいと思います。

ありがとうございました。